



## 次年度に向けて

# アグリ ワーク ポイント

果樹林産センター 青島



貯藏

温州ミニカンを貯蔵するのに適した温度は5～8℃、湿度は85%程度です。貯蔵庫内の温度が高くなっている場合は、夜間の冷涼な外気を導入して換気を行い、庫内の温度が下がるようにします。湿度が85%よりも高いと、予措戻りによる浮皮や腐敗果の発生が多くなります。一方で湿度が80%を下回ると果皮のしおれが激しくなり、しなび果が生じます。複数箇所に温湿度計を設置して定期的にチェックを行いましょう。また、貯蔵している果実は定期的に点検を行い、腐敗果を見つけたら健全な果実に移らないように、すぐに取り除くようにしましょう。

寒風害対策

冬季の寒風は、落葉を助長し、樹勢低下や  
年の着花量減少を引き起こします。

温州ミカンにおける寒風害対策として、防風垣や防風ネットの設置が有効です。防風垣は密閉度が高すぎると、冷気が停滞する場合があるため、適度に刈り込み、通風を確保します。また、苗木や幼木については、寒冷紗や不織布などの資材で樹体を覆って、直接寒風が当たるのを防ぐ対策も効果的です。

病害虫防除・樹勢回復

ミカンハダニやカイガラムシ類の越冬個体を減らすため、マシン油乳剤を収穫後に散布しましょう。次年度の第一世代の発生を抑えるのに効果的ですので、収穫時に被害が見られた園地では必ず防除を行いましょう。防除にあたっては、葉裏や幹にかかるよう十分な薬量を散布します。また厳冬期の散布は樹勢を低下させる恐れがありますので散布が遅れる場合は3月に実施しましょう。

薬剤散布	対象病害虫	散布時期	希釈倍率
マシン油乳剤 (97%)	カイガラムシ類 ハダニ類	1月上旬 ～中旬	60倍
尿素	葉面散布		500倍